

令和3年度 選挙立候補者〈公約集〉

明日を育む 君の一票

立候補者の思いが詰まった公約です。

立候補した10名が「**どのような考えや志**をもっているのか」、「**合志楓の森中学校を、どんな学校にしたい**と思っているのか」ということを、しっかり理解してください。そして、「**なぜその人に投票したのか**」という理由をもって、**責任ある一票**を投じてください。

() 年 () 組

名前 ()

※掲載は届け出順

① () 年 () 組 名前 (三村 誉)

楓の誉こと三村誉です。私が代議委員長を務める中で見えた課題は、二校が合併しているためまだ壁があるということです。違うクラスをよく知らない、周りに流され自分の個性を出せていない人がいるのではないかと感じています。課題を解決し、より良い学校にしていくため、私は生徒会長になりたいです。「ダイバーシティ」という言葉を知っていますか。ダイバーシティとは個性、多様性を認め合う社会のことです。私は誰もが個性を生かせる学校にするために帰りの会で隣の人を必ず1つほめる「誉め愛会」を実施します。また、クラスの旗を作るなどのクラスマッチを実施し、親睦を深めることに繋げていきます。現状を変え第一期から学校を作れるのは、私たちだけです。卒業式で「楓の森でよかった」とみんなが言えるそんな歴史を創りたい。それが私の「未来開拓」です。大切な一票を私に託してください。

② () 年 () 組 名前 (永田 湊)

最初に僕、永田湊はこの楓の森中学校を美しく環境に優しい学校にしていきたいと思い立候補しました。第一に、この学校は開校したばかりで委員会の活動も少ないため、残菜が多かったり節電、節水が出来ていなかったりと、様々な課題があります。そこで僕が提唱したいのは「楓SDGs」です。楓SDGsとは、その名の通り、楓の森中学校独自のSDGsです。具体的な取り組みとしては、学校全体でアンケートをとり、各委員会と協力することで、SDGsの視点を取り入れた環境に配慮した取り組みやイベントを行います。まだ、開校したばかりの楓の森中学校。これから長く続く歴史の中、SDGsを取り入れた伝統は未来の生徒にとっても良いものになります。

さあ皆さんも僕と一緒に楓の森の1ページを描いてみませんか？

③ () 年 () 組 名前 (佐藤 龍聖)

僕が立候補しようと思った理由は、コロナのせいで色々な行事がなくなったので楓の森オリジナルの行事や取り組みをつくりたいと思ったからです。色々な行事で少しでも学校を盛り上げたいと思い立候補しました。具体的に取り組んでいきたい活動内容は、毎日のあいさつ運動です。僕の兄は2年前合志中で生徒会活動として毎日、毎日あいさつ運動をしていました。その姿をみて、かっこいいなと思っていました。今あいさつの声が小さい人やしない人を見かけます。そのような人がいなくなるように生徒会であいさつ運動をしようと思います。また、学校全体を使ってレクリエーションなどを行って小学生と中学生の交流の場をつくろうと思います。僕の目指す楓の森中学校像は、協力ができ、競争ができ、共有し合える友情関係のある中学校です。そのためには、基本である学習を頑張ること。それが出来るようになってから周りを見る力を身につける。そして、みんなが笑顔で真剣な顔でいれるようにしたいと思います。

④ ()年()組 名前(河崎 杏珠)

私は、1.2年生で代議員を務めてきました。そこでみた生徒会執行部の方々が学校や生徒みんなのために行動されている姿にあこがれを持ちました。そして、私も、学校を引っ張っていく存在になりたいと思ったことが立候補した理由です。そこで私が掲げた公約は、「誰一人とり残さない、みんなの意見が反映される生徒会」です。具体的には、目安箱を設置したり、タブレットを活用したりしてみんなが意見や要望を出しやすい環境をつくりまします。その意見や要望をもとに学校生活をよりよくしていきます。そうすることで、1人1人が誇りを持ち、輝けるようになると思います。これから、みんなで築いていきましょう。Kaede's Pride.

⑤ ()年()組 名前(福本 蒼空)

僕が目指す楓の森中学校は「みんなで創る生徒会」です。それは、それぞれの思いや個性を尊重していきたいと考えたからです。僕は、この楓の森中学校の良いところを聞かれたときに、すぐに自信を持って答えることができませんでした。だから、立候補することで自分からよりよい学校をつくっていきたいと考えました。そして、次はこの学校の良いところを、誇りをもって、はっきりと言いたいと思います。そして、この「みんなで創る生徒会」にしていくために、生徒の皆さんの正当な意見を取り入れることで、1人1人が楓の森中学校生徒会の一員という自覚を持ってもらうとともに、よりよい学校作りをしていきたいと考えています。

⑥ ()年()組 名前(柳田 明日美)

皆さん、こんにちは。今回生徒会役員に立候補した柳田明日美です。私が今回役員に立候補した理由は今年生活安全委員会の委員長をしていく中でこの学校の伝統をみんなで築き上げていきたい、みんなが主役の学校を造っていきたいと思ったからです。私の選挙公約は「みんなが主役・誇り高い楓の森中」にすることです。これを実現させるために私は積極的に皆さんの意見を取り入れていきたいと思います。意見箱を設置し全校生徒一人一人の意見を取り入れ活動に反映させていくとともに、月1である委員会活動の際にもっとこのような活動をしたい、校外活動してみたいなどの意見や日常生活で感じるささやかな意見も積極的に取り入れていきたいと思います。そして私が目指す学校像や生徒会規約の目的も達成していきたいと思います。皆さんの温かい1票をよろしくお願いします。

⑦ ()年()組 名前(大川 想真)

こんにちは。一年一組、体育委員副委員長、陸上部の大川想真です。僕が生徒会に立候補しようと思った理由は、先輩方に頼りっきりでなく、一年生も学校のために役に立てるように一年生を僕が引っ張っていきたいと思ったからです。僕が生徒会に入ったら、①運動会やクラスマッチを同じクラスの親交を深めるため、また、他クラスとの親交を深めるために、年に一回アンケートをとり、お笑いや、ドッチビーなどを開催し楽しい学校生活にします。②せっかくのきれいな学校だから整理整頓を徹底させます。皆様の清き一票をよろしくお願いします。

⑧ ()年()組 名前(長瀬 静玖)

合志楓の森中学校は、今年開校したばかりの新しい学校ですが、皆さんはこの学校が立つ前の歴史について知っていますか。ここは以前、ハンセン病患者専用の医療刑務所がありました。ハンセン病と聞いて正しく説明できる人は少ないと思います。しかし、合志楓の森中学校生徒である私達は学校につながる歴史として、正しい知識を身につける必要があると考えました。私達は中学校を卒業したらそれぞれの進路に進みます。その時に、私達一人一人が偏見なく、正しい歴史認識を持っている事を誇りにしたいと思います。そのために菊池恵楓園との交流を持つ事を提案します。私が生徒会に入ったら、菊池恵楓園との交流を通して、社会貢献活動を行うとともに、正しい知識を身につける事が出来るような行事を企画します。例として、平成27年度から行われている「菊池恵楓園交流活動『市民・協力団体による清掃ボランティア』」への参加などを考えています。(新型コロナウイルスの影響で今年は中止されました。)そして私は、生徒の皆さんの意見を取り入れていきたいです。

⑨ ()年()組 名前(中村 咲稀子)

私が目指すのは、「凡事徹底」いわば当たり前のことが当たり前に行える学校です。凡事とは、「当たり前のこと」という意味です。人にあいさつをする、靴をそろえる、忘れ物をしないなど身の回りには、数え切れない程の「凡事」があります。私は、それらの凡事を守るとともに、楓の生徒全員が「当然だ」と言えることを増やしたいです。例えば、困っている人は必ず助ける、陰口には注意するなど、感謝されたら「当然ですよ」と全員が返せるような学校にしたいです。話は変わりますが、私は4月に他県から来た転入生です。最初、不安にしていたところに、みんなが声をかけてくれました。気さくに人に話しかけられるのは、楓のとても良いところだと思います。「当たり前」を増やして、楓の生徒会を、伝統を、もっともっと良いものにしていきます。

⑩ ()年()組 名前(清水 暖矢)

僕が立候補しようと思った理由は、この新しい学校の歴史を作りたい、素敵にしていきたいと思ったからです。この学校は開校してまもなく、まだまだ決まってないことも沢山あります。そこで僕は、この学校が素敵になってほしいと思い立候補しました。そして、僕が目指す楓の森中学校は「生徒の誇りとなる学校」です。僕は、この中学校を作るために「礼儀」を大切にしようと思います。まずは、あいさつからだと思うのであいさつを強化していきたいと考えています。他にも生徒の皆さんに楽しんでもらえるよう小中学校混合チームでのスポーツ大会などの行事もやっていきたいです。そして、意見ボックスを作り、皆さんの意見を聞けるようにし、生徒が主体となってより良い生活が出来るような学校にしていきたいです。